



プレスリリース

## ANDRITZ、日本製紙株式会社向け新設黒液回収ボイラーを受注

グラーツ（オーストリア）、2025年09月01日 日本製紙株式会社は、石巻工場向けに新たな黒液回収ボイラーを導入するにあたり、インターナショナルテクノロジーグループANDRITZをサプライヤーに選定しました。本供給範囲には、黒液回収ボイラー性能を最大限に引き出すための先進的な自動化及びデジタル化ソリューションが搭載されます。

本受注金額（非公開予定）は、2025年第2四半期のアンドリッツの受注高に含まれます。

今回、新たに導入される黒液回収ボイラーは高い効率と優れた蒸気生成能力を備えており、既存の石炭ボイラー1台および回収ボイラー2台の停機を可能とします。これにより、温室効果ガス排出量の削減を実現します。従って、工場の操業は、より経済的で、サステナブル（持続可能）なものとなります。

本プロジェクトは、日本のEPC（設計・調達・建設）企業であるカナデビア株式会社との協業により遂行されます。稼働開始は2028年を予定しています。

この高効率な新しい黒液回収ボイラーにより、石巻工場での温室効果ガスの排出削減に大きく貢献できることに非常に満足しております。本プロジェクトの成果を他の工場にも展開することで、国際競争力の強化にもつながります」と日本製紙株式会社 エネルギー事業本部の松原孝知執行役員エネルギー事業本部長は述べています。

「日本製紙株式会社がANDRITZチームと当社の技術ソリューションに寄せてくださった信頼に心より感謝申し上げます。提供する技術は、プロセスと効率、運用コストの面で最適なソリューションを表しています。このプロジェクトの遂行と、将来的な協力関係の拡大を楽しみにしています。」と、アンドリッツ株式会社 技術営業グループ長の土棚政人氏は述べています。

ANDRITZの納入範囲には、以下の新設備が含まれます:

- **新設黒液回収ボイラー**  
1日あたり2,200トンの黒液処理能力を持ち、主蒸気の条件は、8.3 MPa.G、505℃に設計されています。最先端の技術とデジタル化を採用し、高い洗浄性を基に長時間の連続運転が可能な設計です。
- 既存の黒液エバポレーターには、**高固形分濃度濃縮レーター設備**及び加圧ストレージタンクを導入し、燃焼黒液の固形分濃度を高めることで、回収ボイラー効率を最大化します。
- **アッシュリーチングシステム（脱塩脱カリ設備）**  
電気集塵機（ESP）からの灰に含まれる塩化物及びカリウム（非プロセス性物質）を系外排出し、同時にナトリウム及び硫酸塩を薬液回収サイクルに回収します。

本受注により、ANDRITZ社は、環境負荷の少ない生産に注力した最高水準のパルプ工場向け技術のサプライヤーとして、グローバル市場での強固なポジションを改めて示すこととなりました。



日本製紙株式会社は、1949年に設立され、東京に本社を置く世界有数の製紙メーカーです。紙・板紙・家庭紙・特殊紙のほか、建築建材、エネルギー、化学薬品など多岐にわたる事業ポートフォリオを展開しています。製品の付加価値向上と環境負荷の低減を目指し、新素材や新技術の開発にも積極的に取り組んでいます。

– End –

#### プレスリリースと写真のダウンロードについて

プレスリリースと写真は、[andritz.com/news](https://andritz.com/news) からダウンロードしていただけます。写真は出典を「Photo: Nippon Paper Industries Co., Ltd.」と明記いただければ、無償で掲載可能です。

#### 本件に関するお問い合わせ先

Niklas Jelinek

Media Relations

[niklas.jelinek@andritz.com](mailto:niklas.jelinek@andritz.com)

[andritz.com](https://andritz.com)

#### ANDRITZについて

インターナショナルテクノロジーグループであるANDRITZは、パルプ・製紙、金属、水力、環境関連をはじめとする幅広い産業分野に向けて、最先端のプラント、機器、サービス、デジタルソリューションを提供しています。

1852年に設立され、オーストリアに本社を置く同社は、世界80か国以上、約280拠点において30,000人の従業員を擁し、株式公開企業として事業を展開しています。

技術とイノベーションのグローバルリーダーとして、アンドリッツは顧客、パートナー、従業員、社会、そして環境に貢献する持続可能な進歩を追求しています。

同社の成長は、グリーントランジション（脱炭素社会への移行）を実現する持続可能なソリューション、産業の最高性能を支える高度なデジタル化、そして設備のライフサイクル全体にわたり最大価値を引き出す包括的なサービスによって支えられています。

#### ANDRITZ PULP & PAPERについて

ANDRITZ Pulp & Paperは、あらゆる種類のパルプ、紙、板紙、ティッシュの生産において、サステナブル（持続可能）な技術、オートメーション（自動化）、そしてサービスソリューションをご提供しています。これらの技術やサービスは、原材料の最大限の活用、生産効率の向上、総運転コストの削減、また、革新的な脱炭素戦略や工場の自律運転などに重点を置いています。

発電用ボイラー、各種不織布技術、パネルボード（MDF）製造システム、廃棄物から有価物へのリサイクル技術、破碎やエネルギーソリューション、生産工程で生じる廃棄物や側流を価値ある二次原料や発電用の持続可能な資源に変換する技術もこの事業分野に含まれます。これらにMetrisデジタル化ソリューションの一環として最先端のIIoT技術もご提供し、包括的な製品ラインアップを実現しています。